



ティーンズコーナーの本を 読んでみませんか？

中央図書館2階、読書室にあるティーンズコーナーを皆さんはご存知でしょうか？

ここでは、勉強の参考になる本、自分自身と向き合える本、将来の夢に近づくために必要な知識を得られる本、スポーツの本、また、ドラマ化・映画化など実写化された小説など、みなさんにぜひ手に取って欲しい本をそろえています。

この「Teens Joy」にも毎号4冊、図書館員がお薦めの本を紹介しています。

ティーンズコーナーには、以前発行した「Teens Joy」もありますので、読む本に悩んだ時に参考にしてください。

他にも読書案内として
「今すぐ読みたい！10代のためのYAブックガイド150！」

「新 どの本読もうかな 中学生版」
「中高時代に読む本50」という本もありますので、ぜひ1度ティーンズコーナーにご来館ください。



Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト

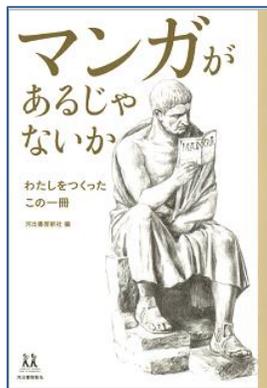


No.25 2016.4

清瀬市立図書館

マンガがあるじゃないか

河出書房新社／編
河出書房新社



日本が世界に誇るサブカルチャーの「漫画」。でも、「たかが、漫画…」 「所詮、漫画…」と言われ続ける漫画。だがしかし！「されど、漫画」と言いたい！

様々なジャンルで活躍する29人が、それぞれ思い入れのある漫画を紹介しています。若い頃に感銘を受けた本は、その時に心を動かされた何かが重要であり、漫画だろうと純文学だろうとその価値に変わりはないと思います。

書き手も紹介される漫画も実にバラエティ豊かなラインナップになっていますので、ぜひ、自分に合う漫画を探すヒントにしてください。

<中央図書館 横山>

文化人類学者である著者は、南アメリカ大陸のエクアドルで、棲み家である森を奪われ、人間に囚われたナマケモノの「弱さの強さ」に気づき、その魅力に取りつかれます。

この本は、世界中の「弱さ」に目を向けるきっかけになります。そして、ブータンという国の幸福についての考え方や、障がいを持つ友人の話。宮沢賢治や金子みすゞの作品など、様々な分野に興味を広がりません。

競争の激しい現代社会で、「勝ち・負け」でない自分らしい到達点を見つけるための道筋となる1冊です。

<駅前図書館 伊藤>

弱虫でいいんだよ

辻 信一／著
筑摩書房



1980年代に大人気のアイドルだった小泉今日子さんは、今の中学生にとって女優としてのイメージが強いかもしれません。

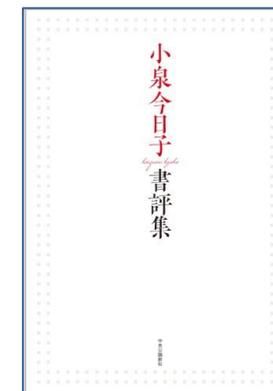
そんな女優であり歌手でもある彼女が、読売新聞の読書委員として10年間にわたり、小説からノンフィクション、漫画までを読み綴ってきた書評をまとめた1冊です。

本を通して語られる様々な彼女の思いは、芸能人としてではなく、一人の等身大の女性の10年間の歩みとして見ることができます。

<中央図書館 伊藤>

小泉今日子書評集

小泉 今日子／著
中央公論新社



国ってなんだろう？

早尾 貴紀／著
平凡社



地球の全ての陸地には国境という線が引かれていて、それぞれの「国」の名前が付いています。そして国の構成員が「国民」で、原則的に地球上に生きる人は必ずどこかの「国」に属しています。

「個人」と「国」の関係は密接です。皆さんも義務教育を受け、買い物したら消費税を支払い、国の定めた法律に守られています。これから生きる社会において「国」の問題は、とても重要で幅広く複雑ですが、自分の将来を考える時に、必要なものでもあります。

「国」について考えてみるきっかけに、読んでみてはいかがでしょうか？

<中央図書館 伊藤>